わからないです吉田さん
わからないです
吉田さん
①
高橋脩

高橋 脩

今作は「目隠れヒロインを描きたい」
というところからスタートしました。
吉田さんと九十九くんの日常を
楽しんでいただけたら幸いです。

むにゅ

はぁ

そう…思っていた

ん……

はぁ

吉田さん……

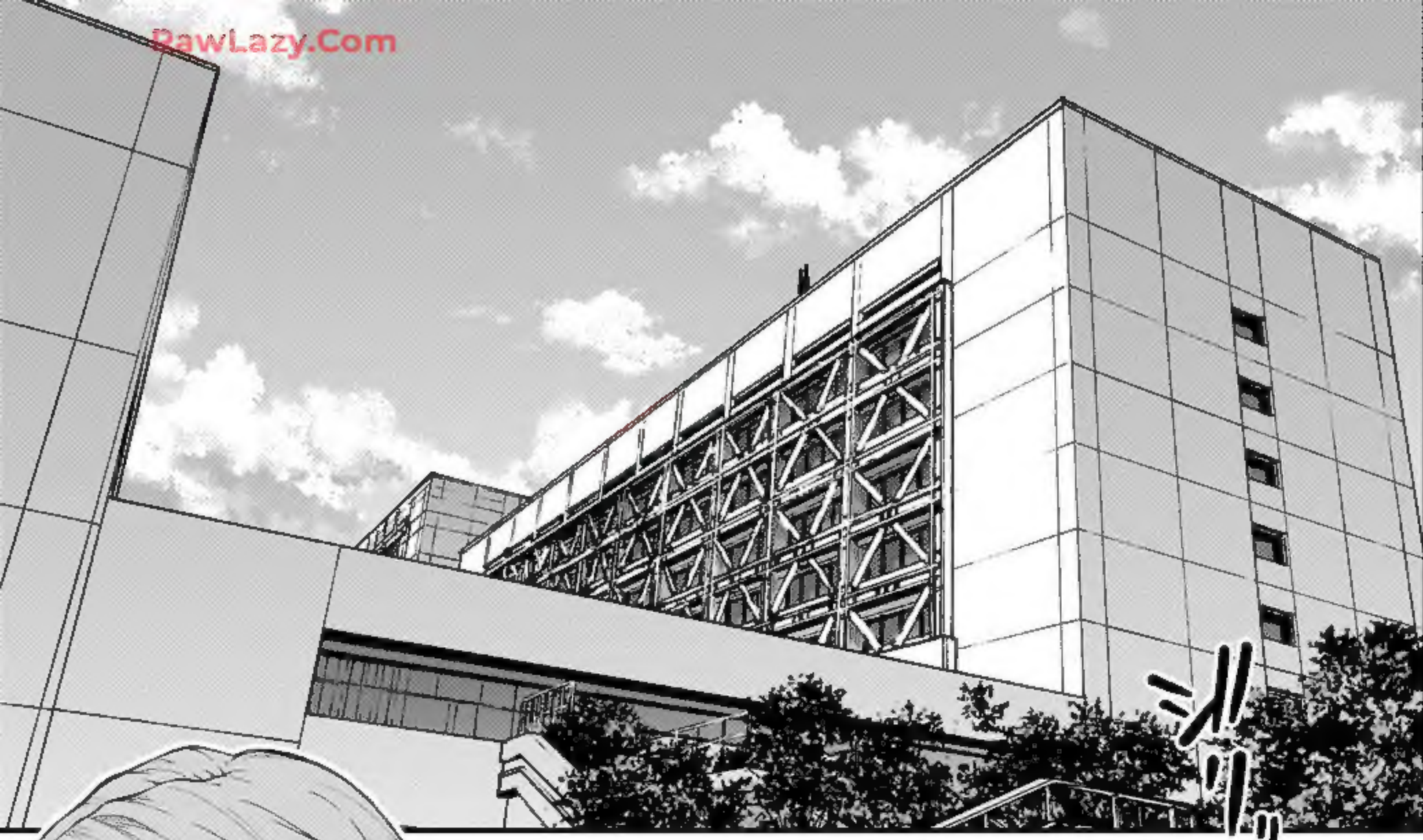
九十九……
この頃はまだ——
第一話

わからないです青田さん
高橋 脩
キス…して

わからないです吉田さん 1

Wakaranaidesu Yoshida san

content

?

RawLazy.Com
ジリリリリリリ
はい
今日はここまで
レポート未提出の人は17時が〆切なので急ぐように
九十九くん
木野先生あいかわらず帰るのはえー
ザワ
ザワ
山田 この後暇？
RAWMANGA.SI

これからカラオケ行こうって話してたんだけど一緒にどう？
え？今から？

今日は……

ごめんどいて
ズイッ
あ……

ご…ごめん
吉田さん

チラ

なあ聞いた？
俺初めて吉田さんに声かけられた！
あれは声かけられたうちに入らないだろ……

前飲み会誘った時はすごい嫌そうな顔で無視されたもんな
まあ確かに…人魚姫の声久し振りに聞いたかも

吉田真魚
N大学文学部二年
極端に無口で
孤高
これまで
多くの男子学生から
誘われるがその全てを
無言で拒否し続け
ついた渾名が
「人魚姫」
実際 吉田さん
付き合ってる人
いるのかな？
声かけた男
悉く撃沈してる
らしいし
学外にいるの
かもなあ

それで九十九くんどうする？
あ…
ごめん
これからレポート書かないと――

なんだまだ出してなかったの？
それじゃ仕方ないか
僕には皆に秘密にしていることがある
うんまた今度ね

それは――
ん…っ

吉田さんとこんな関係になってるということ――

九十九…もう我慢できないって顔してた

本当は嬉しいんでしょ？

友達の誘いを嘘ついてまで断ってこんな事してる
エッチだよね九十九
それは…
吉田さんが――
あんな眼で見るから
私が…何？
ここ…もう固くなってる

これからどうしたいかちゃんと自分の口で言って
九十九
ごくっ
そ…それは——

向こうにも掲示板あったっけ？
あ――あっちはいいよ殆ど人来ないし
ギッ
わっ!?
ぐいっ
九十九
……
それじゃ次は三号館行くか
……

なんだアレ……
こんなトコでイチャつくなっての……

見なかったフリ見なかったフリ……
フラ
フラ

吉田さんどうしたの急に……
だって顔見られたくなかったし

それじゃ私
帰るね
19時頃
そっち行くから
あ…
待って
さっきの質問
まだ答えて
ないけど
残念
時間切れ
え────…
しゃん…

続きは
今夜…ね

MARI
annel

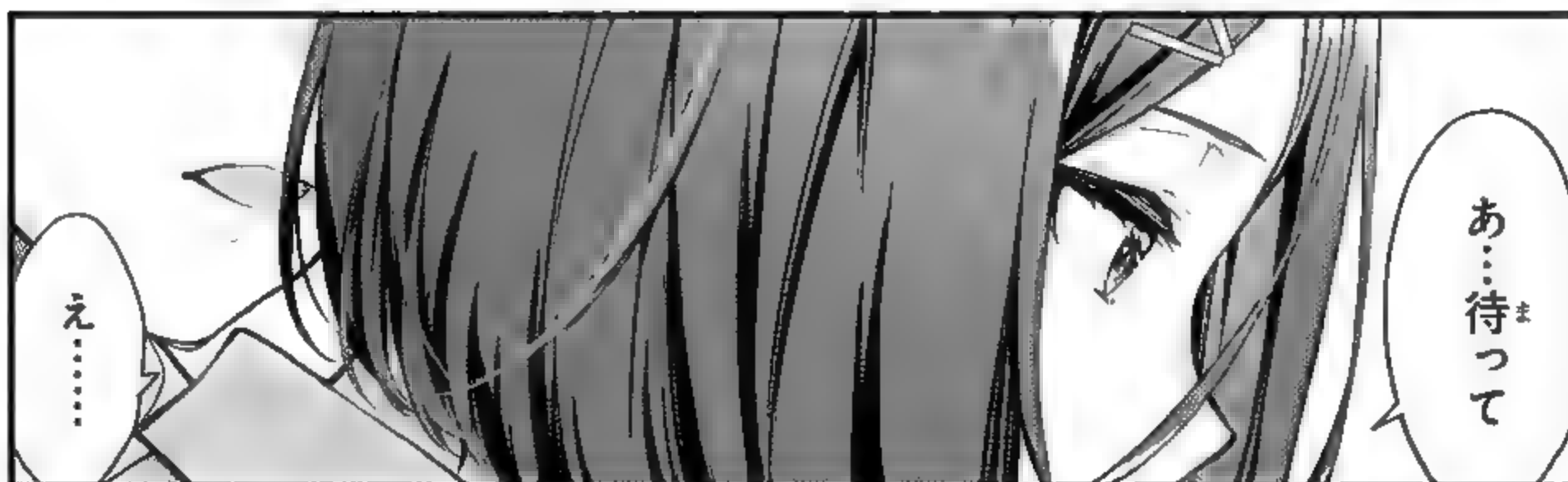
吉田さんとこんな関係になって四ヶ月あまり
いつもこんな感じで振り回されてばかりいる

でも――
19時…か

早く帰って片付けないと

――ということでコメント・スパチャありがとうございました！

次の配信はたぶん土曜のお昼から

最近巷で流行ってるらしい『タコゲーム』に挑戦してみようと思ってまーす！

それではっ
月ノ輪くまり
でした――
またね――
バイバイ！
あ…待って
え……
最後の挨拶くらい
コメントしないと

吉田さん くまりちゃん 好きだよね
いつも観てる

うん 好き
デビュー当時から 応援してる

ふーん そっか……
なに？ 九十九は くまりちゃん 嫌い？
い…いや そういう訳じゃ ないけど
こういう事 してる時に聞くと ちょっと落ち着かない というとか……
KUMARI Channel

それより配信 終わったなら 続き――

待って
やっぱりシャワー 浴びてくる
あ……

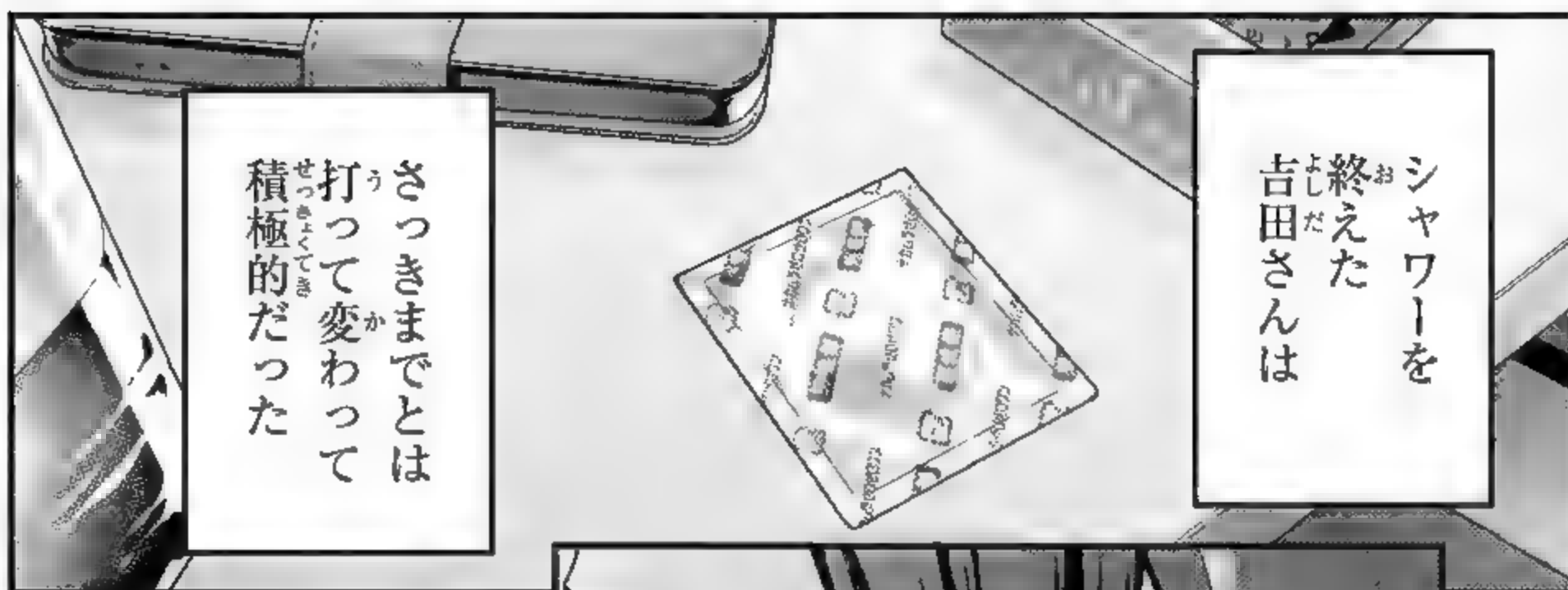
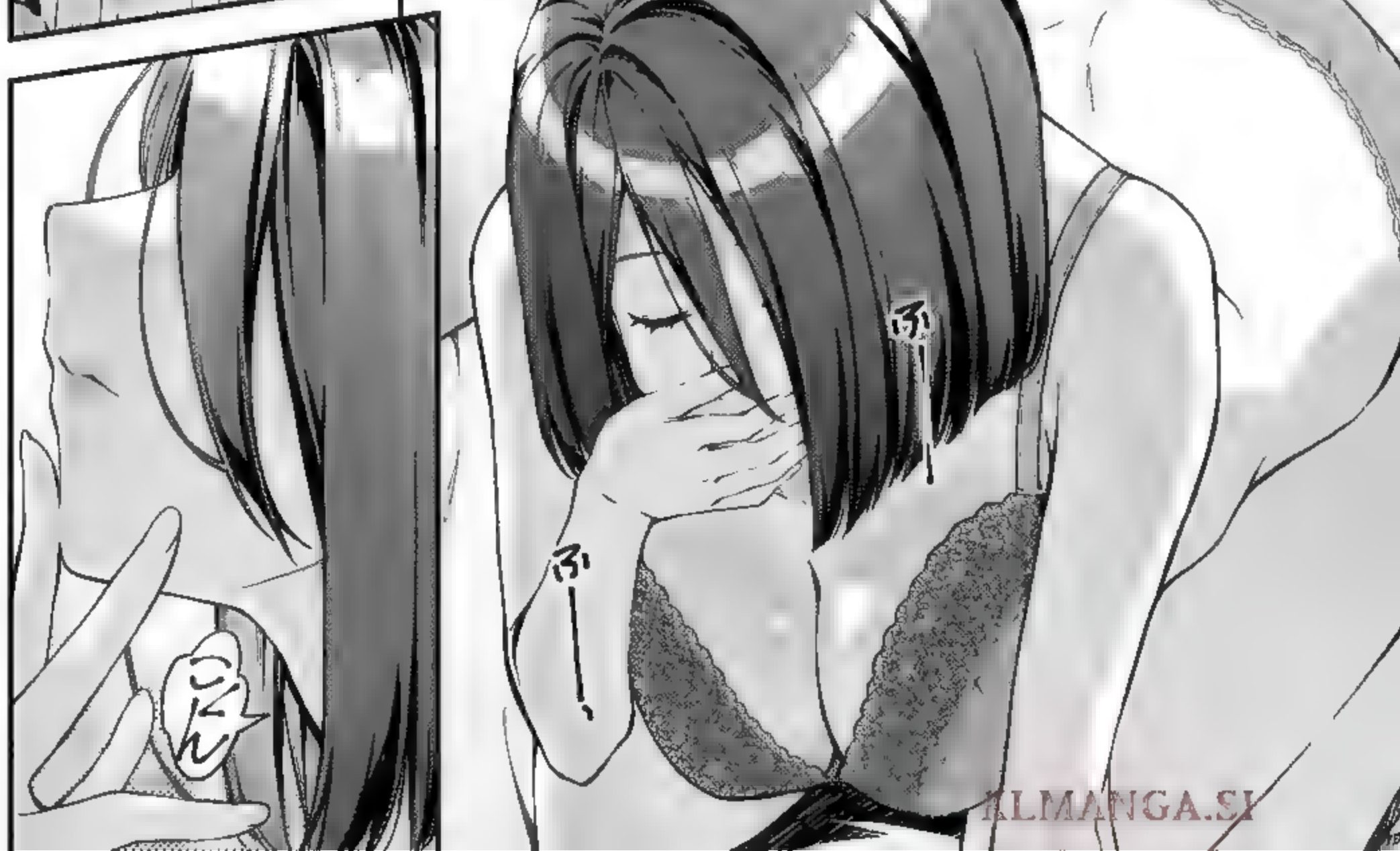
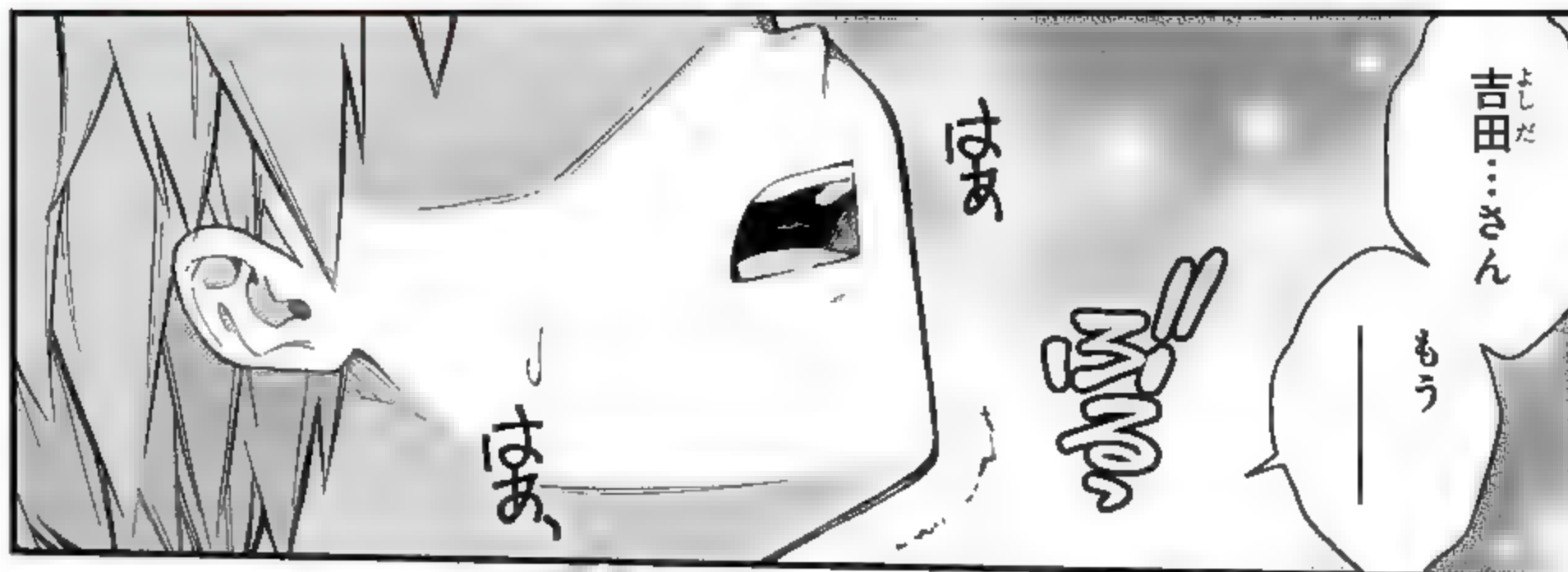
そもそも僕は吉田さんのことをよく知らない
僕以外の人と話してるのを見たことないし

出身地も家族のことも教えてもらえない
そもそも何で吉田さんは僕なんかと──

でも…こんな事してるんだし
好き…てことでいいんだよな？
気がついたらこんな関係になっていて
…お待たせ
互いに一度も「好き」なんて言ったことが無いけど
——そうだ

ちゃんと告白しよう
シャワーを終えた吉田さんは
さっきまでとは打って変わって積極的だった

吉田…さん
もう――
はぁ
はぁ、
もうちょっと我慢して
む…無理
ぬちゅ
ふー
ふー…、
こくん

あーあ…
我慢してってって言ったのに
ご…ごめん
これはお仕置き
九十九はどんなのがお望み？
とろぉ…
完全に発情モードに入ってる……
必要ね
とりあえず手…出して
こうなったらもう吉田さんが満足するまで言いなりになるしかない
は…はい

よ…吉田さん待った！
ぐちゅ
ぐちゅ
これ…なんかいつもより――
ぬちゃ
ふうん……
お仕置きなのに気持ちよくなっちゃってるんだ
こうやってSっ気が出てくるのは
吉田さんが興奮してる時だ
変態の素質あるよ九十九
ぐちゅ♡
ぐちゅ

両手の自由を奪われて

女の子に上から攻められて興奮しちゃうなんて

変態

そ…そんなこと言われても——

変態

あ…っ

いまお腹の中で九十九の大きくなった

はぁー

はぁー、

きゅん

分かる?

いま一番奥まで届いてる

はぁ、

はぁ、

はぁ♡

私の膣内…九十九のでいっぱいになってる

いいよ
手…自由にしてあげる
今度は九十九が上になって
パサ
はぁ
はぁ
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
あっ♡

ん……
はぁっ
はぁっ
はぁーーっ
九十九……
吉田さんの膣内…
火傷しそうな程
熱い
密着した肌の
向こうから
心臓の鼓動が
伝わってくる

吉田さんも
僕をからかう
余裕が無くなって
きて
はぁ
ぱん
はぁ
部屋の中には
互いの呼吸音と
腰を打ちつける
音だけが響く
ぱん
はぁっ
ぱん
ぱん

九十九
九十九…
吉田…さん
私…もう——

僕も
はっ
もう……
はっ
いい…?
はっ
いい
いいよ
九十九……

はぁ、はぁ
はぁー…♡
吉田さん
今日どうする？
………
泊まってく
明日一限からだし
九十九の家のほうが大学近いし
ん……
先シャワーどうぞ
…やるぞ
告白──

…吉田さん
…なに？
改まるとなんだか緊張するな……
あのさ…何だか今さらな感じはあるんだけど
ちゃんとしておきたくて
す…好きです！
吉田さんのこと恋人として大切にします！
だからこれからも──

私にとって九十九は友達だから

わからないです
吉田さん

わからないです
吉田さん

第二話

友達…？
吉田さんは僕のこと ただの友達としか 思ってなかったのか…
でもただの友達と エッチなんかするか…？ 吉田さんと初めて してからもう四ヶ月は ——
いや待て… それって——

セフレというやつなのでは……？

だとしたら 吉田さんには 僕とは別に 本命の彼氏が いるってこと？
でも大学で 見てる限り そんな人が いるようには ——
ひょっとして 学外に？
でも週の 半分くらいは 家に泊まりに 来てるのに…
いやでも ……
モヤ
モヤ…

はーい
今日はここまで

お疲れさまでしたー

ふー
終わったぁ

渡辺くん
メシ食い行く？

うん

九十九くんも
どう？

九十九くん！

わ…!?

メシ
どう？

あ…

うん

九十九くん今日は午後取ってないんだっけ？

うん

いいなー俺も哲学史なんて取るんじゃなかった殆ど毎週レポートがあってさ……

吉田さん
やっぱ美人
だなぁ
あんま
ジロジロ
見るなよ

吉田さんは
大学では全然
話してくれないし
殆ど目も
合わせてくれない
他の人に関係を
知られたく
ないからって
言うけど

それって他に
本命の人が
いるからって
ことだったのかな
……

吉田さん…？

ガーー
ガーー

確か午後は空いてたよね？
二時に図書館で

デレ

……!!
だ…駄目だこんな事で喜ぶな…ッ

こんな事で喜んでしまう自分がいる
こうして彼女に求められるだけで充たされてしまう自分が──

その自分は
これで十分じゃないかと
言ってくる
下手に藪蛇を
つついて傷つく
くらいなら
今の境遇に満足しろと
でも…やっぱり
知りたい

彼女にとって
僕が何なのか
――

いま…漫画以外も読むんだ…とか
思ったでしょ？
え!?
い…いや

まあ…ちょっとだけ
私けっこう読書家なんだから
図書館利用すればタダだし
そこなんだ……
私あんまお金持ってないから使える物は利用しないと
…ていうか何で付いてくるの？
何で…って僕とくに借りる物無いし
大学では一緒にいるとこ見られたくないって言ったでしょ
えー…
だったら呼び出したり何で—
ほらどっか適当なとこで時間潰してて

ほんと
吉田さん
てば…！

だったら最初から
ここで待ち合わせ
なんかしないで
用が済むまで
待ってて
言ってくれれば
いいのに

吉田さん 普段と
変わらないな
昨日のこと何とも
思ってないのかな

でも…こうして
本に囲まれてると
吉田さんに
最初に会った時を
思い出すな

いや…最初に
吉田さんを
意識した…か
あれは駅前の
本屋で──

五ヶ月前
あ……
あった あった
今日発売なのに入荷一冊だけか……
え…？
僕は好きなんだけどな
棚番号 312
青龍伝 七
青龍伝 八
青龍伝 九
ペンギン男爵の憂鬱
伊吹圭史
しのこ。

あれ…この人
確か同じ
クラスの――
名前
なんだっけ……
それどうぞ
僕は明日にでも
他で買うから
あ……
…と
…ありがと
九十九
!
MARUKAWA

僕の名前を知ってる？
でも同じクラスなら知ってても不思議はないか
それにしても…彼女もあの漫画読んでるんだ
ちょっと話してみたいな
翌日──
九十九
え…
これ昨日の漫画……
もう買った？
檸檬堂

いやまだ…今日帰りに買おうかと思って
ならあげる
いやそれは——
私…もう一冊買ったから
え？
でもあの店一冊しかなかったのに
たまたま買えた
そうなんだ…あでもいま小銭ないからまた後でもいい？
お金はいい
いやそういう訳には——
とにかく用はそれだけだから
あ…待って

だったらさ お昼 学食で おごるよ

これ読んでる人 周りにいなくてさ

せっかくだから 話もしたいな

……

まあ… いいけど

そして――

僕と吉田さん
同じ気持ちだと思ったんだけどな……
妖精の守り人
あ…これ今度アニメ化するんだっけ
吉田さんが好きそうな――

スッ
妖精の守り
ルーシッドドリー
プロジェクト・仏
お知らせ
あ……
…九十九 それ借りるの？
え…？
あ…いや ——
どうぞ
あのさ 覚えてる？
僕達が初めて 話したのもこんな だったよね

すごい偶然だったけど

ああいうの運命っていうのかなって——

運命とか…そんなんじゃない

あ…
そっか
そう…だよね
やっぱり
吉田さんにとって僕は―
吉田さん…？
来て
スタ
スタ

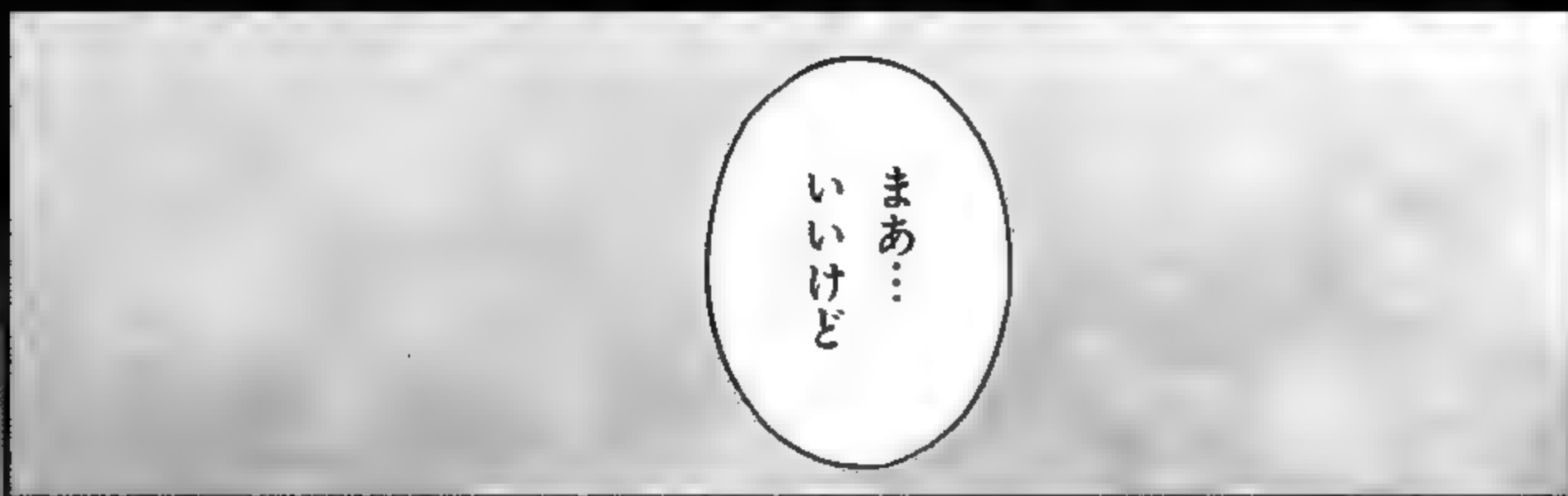
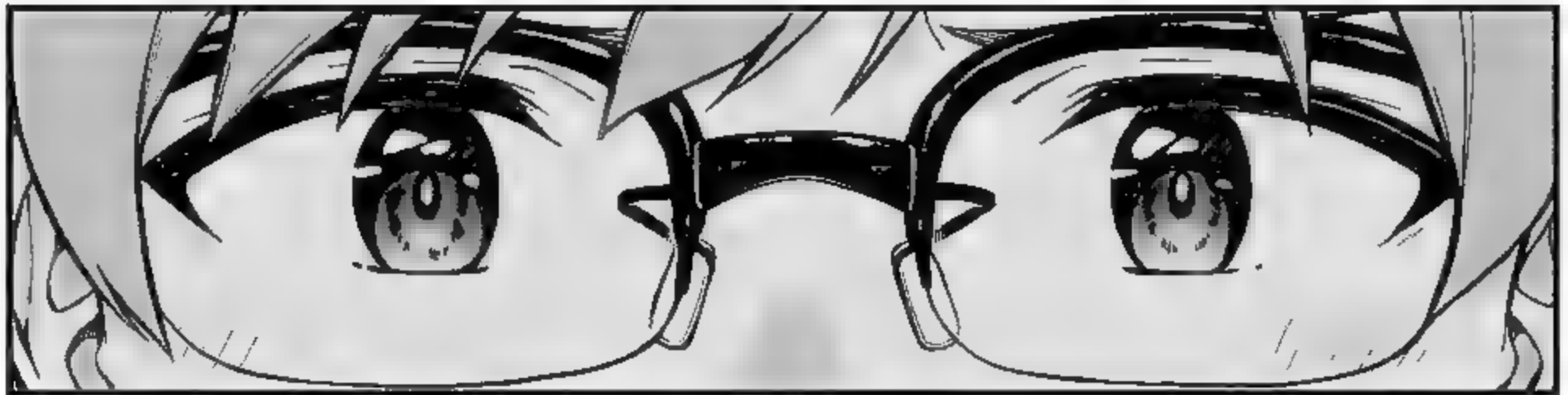
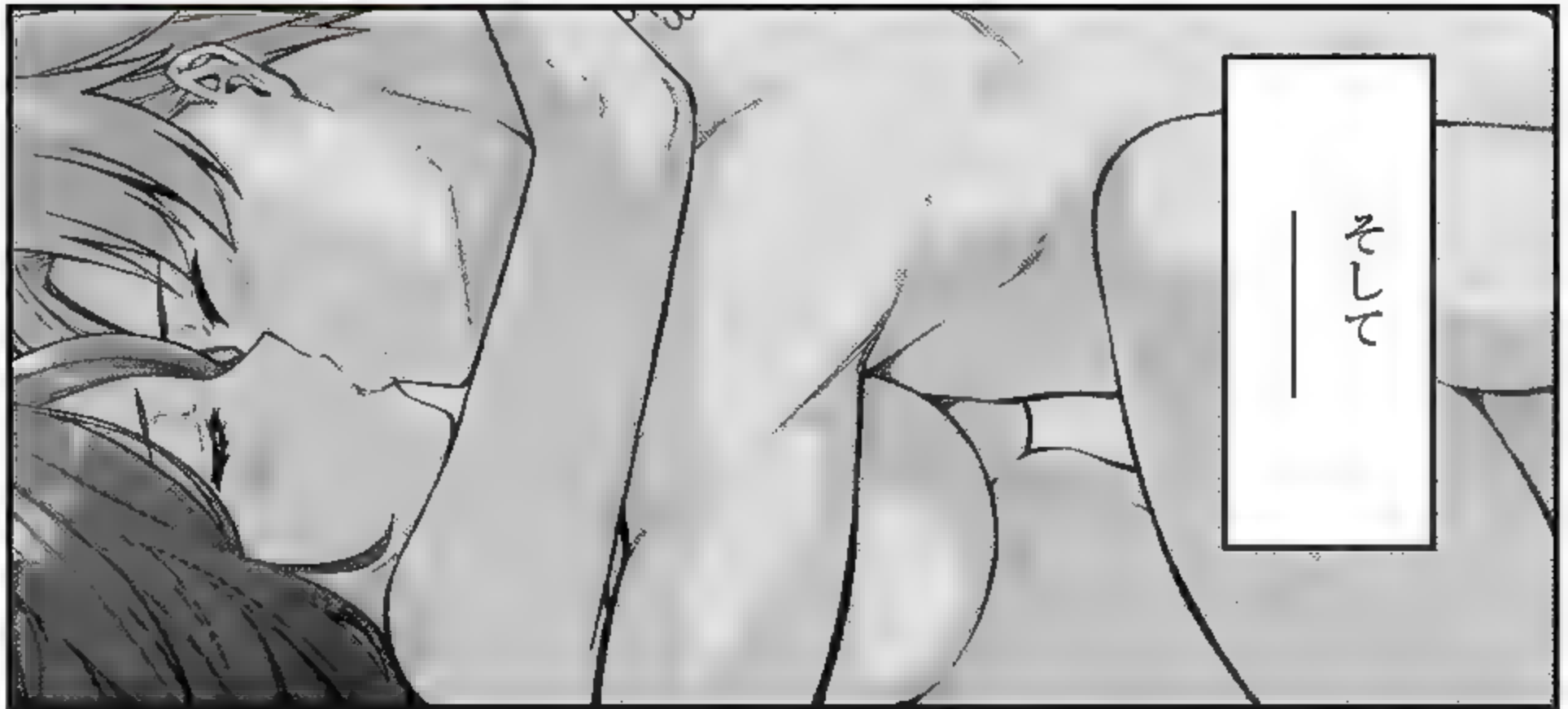
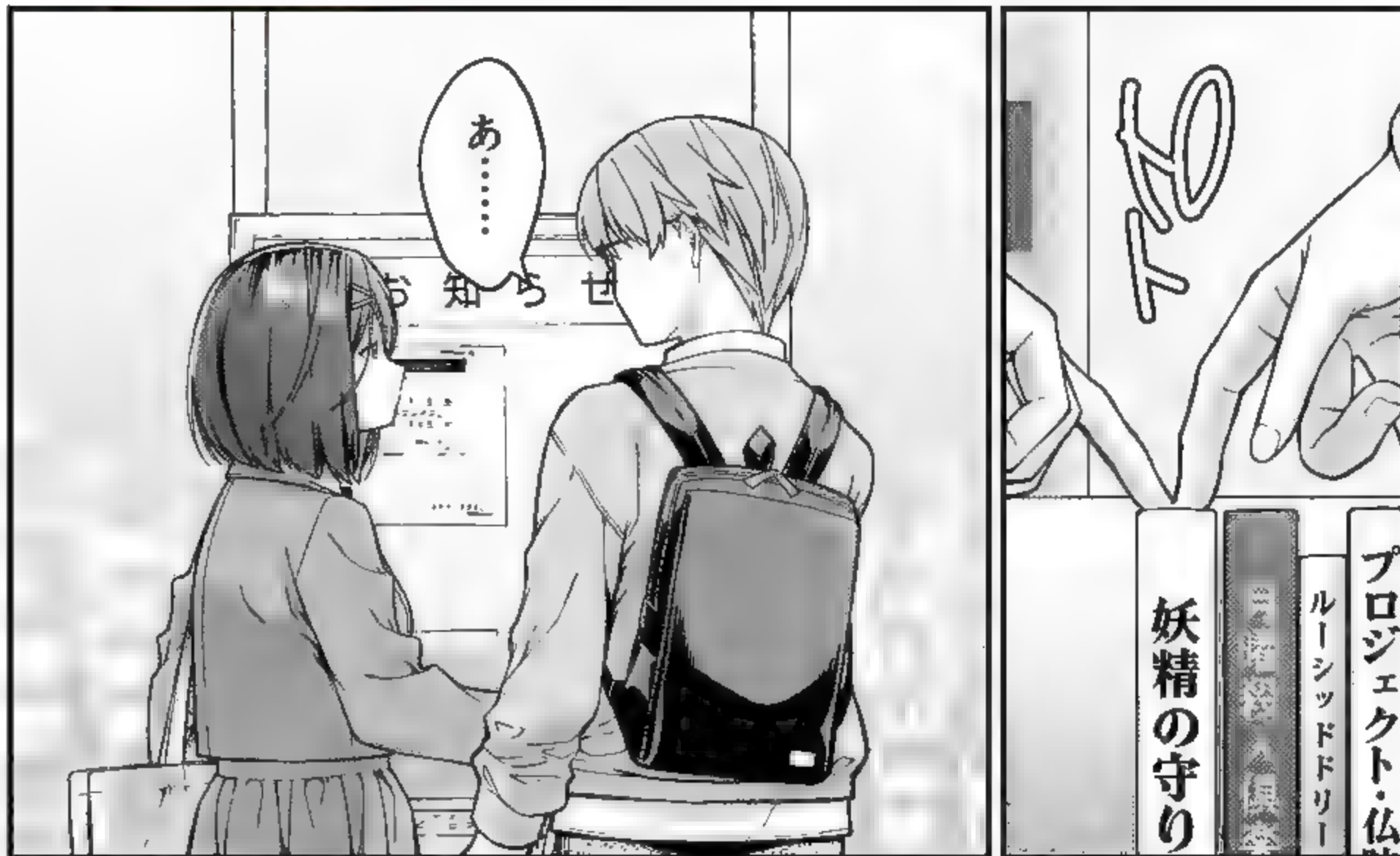
ガチャ

よ…吉田さん？

ひょっとして ここで…？

ズボン…脱いで

………

パンッ
パンッ
ん…あんっ
パンッ
パンッ
あっ
はぁー…
はぁー
気持ちいい……
パーンッ
ぐちゅ
ずちゅっ
パーンッ
パンッ

吉田さん
声
はぁ、
はぁー♡
ムリ…
出ちゃう
吉田さんはたまにこうしてスイッチが入る時がある
くちゅ
くちゅ♡
そんな時はどこか人気のない場所で
はぁ
はぁ
はぁ
吉田さんが満足するまでされるがまま
私の声止めたかったら
ずっとキスしてて

はっ
んっ…
あっ♡
今まで考えたことも無かったけど
僕は…吉田さんに利用されてるんだろうか
はぁっ
はぁっ

趣味の話ができる
都合のいいセフレ
――
…吉田さん
あのさ
なに？
もっと激しく
したい？
ずりゅ
いやそうじゃ
なくて――
あ…っ
参ったなあ…
レポートに使う本
借りられてた
!!
そりゃ早い者
勝ちだもんな

もう家帰ってゲームやるかな
シャー
ゲームなら一緒にやらない？武器取り行きたいんだよね
はぁ
はぁ
そうだなあ……
くちゃ
くちゅ
決めた！レポートは明日でいいや
ふ
ふ
ふ――
帰ろ帰ろ
はっ
はっ
九十九
もう人いないから
動くね
はっ
はぁっ
はぁ
吉田
さん――

はあっ
はあーーっ
一回イっただけでは吉田さんは治まらなかったらしく
んっ
ふっ
その後も10分くらいずっとキスしていた
んっ…♡
ふ
はあっ
はあ♡
…そろそろ帰ろっか
私…用事あるし
あ…うん

ゲーム予約してるから買って帰る

お金ないって言ってなかった？

こういう事のために節約してるの

あのさ 僕も一緒に行こうか？
いい すぐ帰って遊びたいし

…そっか

想像したくないけど
本命の彼氏の所に行くとか…ないよね？

こんなこと考える自分が嫌だ
はぁ…
九十九

私がこんなこと
するのは
九十九だけ
だよ

吉田さんって
僕には謎だらけだ

END

わからないです
吉田さん

わからないです
吉田さん

第三話
チラ
KLMANGA.SI

最後に会ったのが金曜日で今日が火曜日

週末はだいたいいつも家に来るのに……

連絡しても返事無いし

この様子だと大学にも来てなさそうだし

吉田さんが二日連続で大学を休むなんて初めてだし

風邪でもひいたのかな?

それとも――

こんなこと
するのは僕だけ
だって
吉田さんは
言ったんだ
そうだ
僕は吉田さんを
信じる
でも…
本当に
気になるな
………

…来ちゃった
こっち来るのも久しぶりだな
大体いつも吉田さんが家に来るから
大丈夫？
何かあった？
今からそっち行くね
…やっぱり返事なし

ピンポーン

…反応なし

まさか留守？

いやまさか——……

ピンポン ピンポーン

どしたの？
いや吉田さんから連絡ないし大学にも来ないから——
今日何曜日だっけ？
……火曜だけど
…………
…そう
ガチャ…

ふあ…
…寝てた？

そっか…
火曜日か
せめて英語だけは
出ておきたかったん
だけどな……

まあ…
元気そうで
よかった

グしゃ。

ちょっと散らかってるけど気にしないで
………

吉田さんは片付けが苦手なタイプだ
来た時はいつも散らかってたけど
それにしても今日はいつにも増して──

そういえば前にも一度こんなことあったな
あれは夏休みだったけど
あの時は――
ARCANA5
PRESS ANY BUTTON
そうだ…ゲームだった

ところでそれなに買ってきたの？
これ？ご飯と薬
薬？
吉田さんからぜんぜん連絡が無いから
何かあったかと思って
…ふうん
ふうん…て
結構心配したんだよ？
そう
それさ金曜の帰りに買ったやつ？
うん
「アルカナV」

大学はどうするの？
さすがにこれ以上休むのはまずいんじゃ？
……大丈夫
もうだいぶクライマックスっぽい雰囲気だし
今夜中にはクリアできると思う
……
そうだ！オープニング見せてあげる
え？
かなりカッコいいから
ちょっと待って
ああ…これは——
表情の読みづらい吉田さんだけど
これは分かる
好きなものを布教したい時の顔だ
九十九はさIVはやったことある？
かなり進化してるよ
グラフィックは勿論だけど特にUIが——

はい
コントローラー

何なら序盤
遊んでみる？

あ……

普段口数の
少ない吉田さんが
この時ばかりは
饒舌になる

あ ほら
始まった

ボタン
押さないでよ

久しぶりの
吉田さんの匂い

このシャンプー
の――

吉田さん
今すぐお風呂入ってきて
やだ
ゴゴゴゴ

やだって…子供じゃないんだから
学校サボってゲームやってるなんて子供そのものでしょ！
………
…お風呂上がりの吉田さんの匂い好きなんだけどな
……
……
…しょうがないな
吉田さん？
シャワーだけね
どうしたんだろ急に──

は――……
ドサッ
！
これ…『青龍伝』の二巻だ
なんか感慨深いな…
これの新刊を買おうとして
吉田さんと知り合って――
？
青龍
何だろうこれ
紙が挟まってる――
…え？

きゃっ!?
ギョッ
今度会った時に感想聞かせてね
九十九
ガラ
ガチャッ
吉田さんどうしたの!?
…九十九?
…あ

ご…ごめん
何かあったかと
思って――
別に…
謝らなくていい
今さら九十九に
見られて
困るところなんか
無いし
シャワーが
まだ冷たかったから
びっくりしただけ
そ…そっか
ごめん
それじゃ――
吉田さんは
そう言うけど
不意に裸を
見ちゃうと
こっちが
恥ずかしく
なるな……
待って
やっぱり…
九十九
手伝って
…え？

あの…何で僕まで裸に
——
うちのお風呂狭いから
濡れちゃうでしょ
ほら九十九の気の済むまで
私の身体綺麗にしていいよ

ゴク…
そ
それじゃ──
ビク
ん…ッ
はぁ
はぁ
つ…九十九
なんか…いつもと違う

吉田さんどう？
こんな感じでいい？
こく
こく
吉田さん何も言ってくれない……
あんまり良くない？
もうちょっと強めに――
ぐいっ
!!

はぁ
はぁ
っ…九十九ぉ
はぁ…
その洗い方ちょっとエッチ……
あン♡♡
九十九…お尻
当たってる
よ…吉田さんそんな声出されたら——
どんどん大きくなって——

吉田…さん

ちょっと——

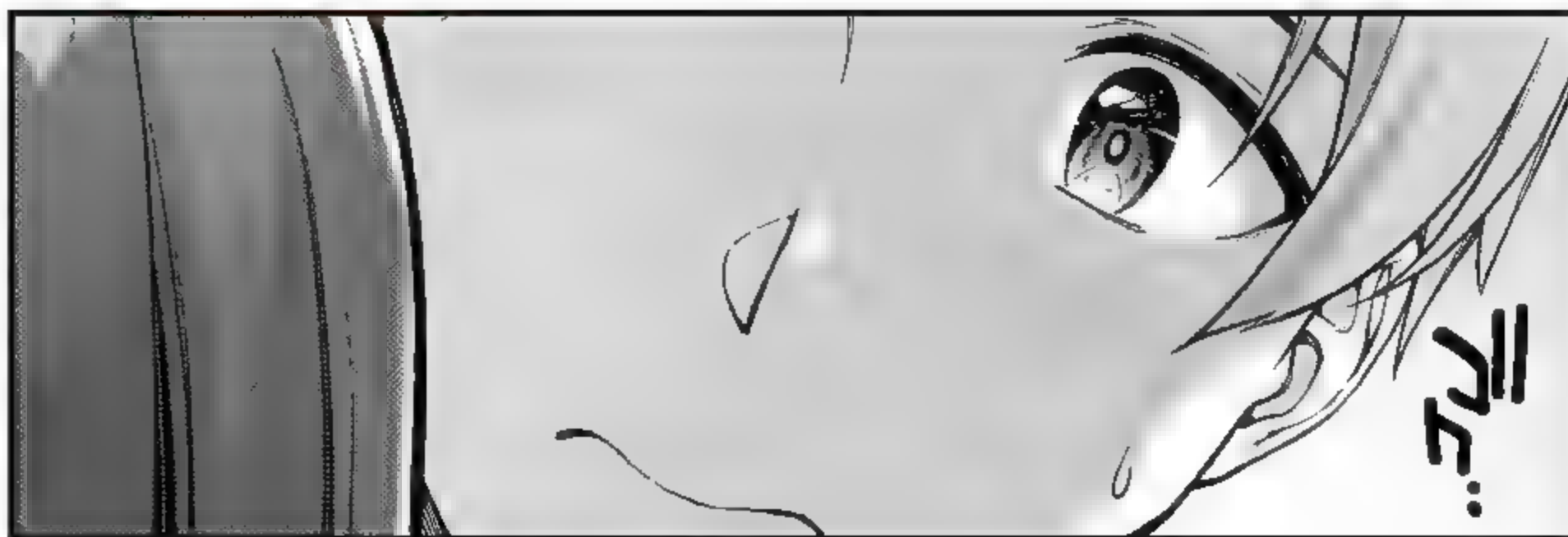
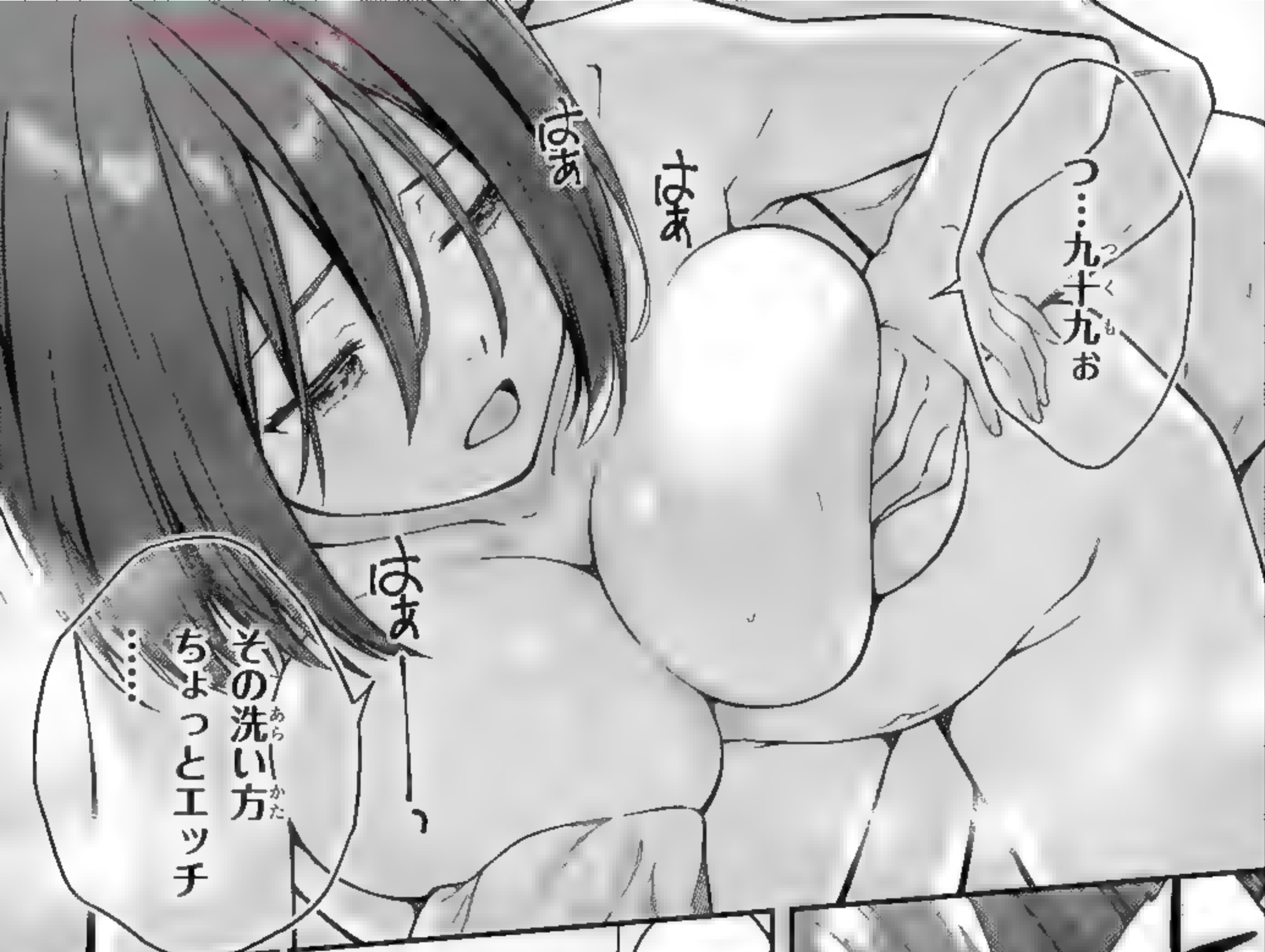
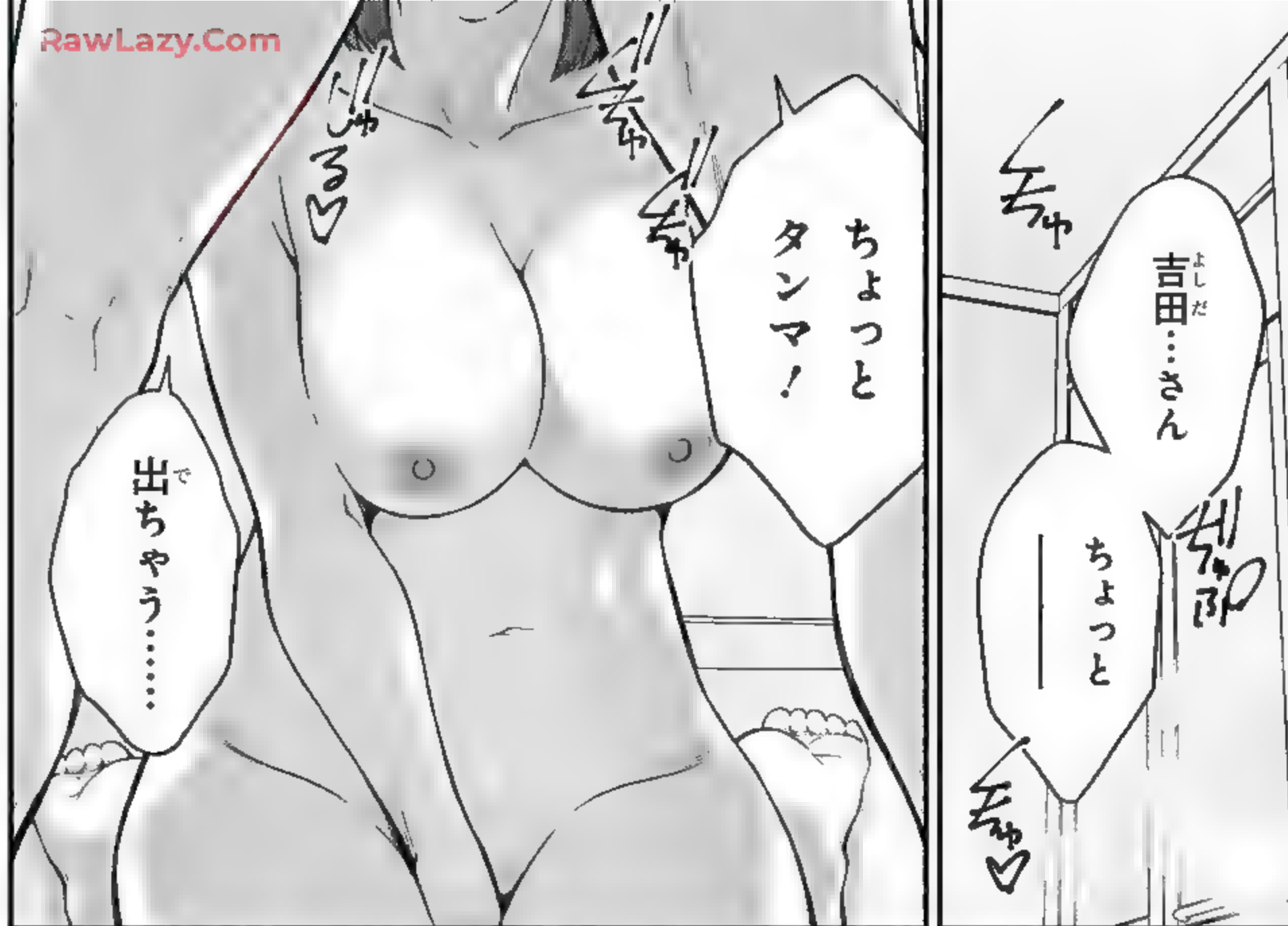
ぐちゅ

ぐちゅ♡

ちょっとタンマ！

出ちゃう……

じゅる♡

ぐちゅ

…あーあ
九十九に綺麗にしてもらうつもりが
逆に汚されちゃった
しとろぉ…
この後はどうするの…？
ご…ごめん
………
KLMANGA.SI

吉田さん本当にいいの…？
だって九十九の部屋でしかしてないから家には置いてないし
それとも今からコンビニ行く？
それは無理我慢できない……
ちゃんと最後外に出してくれるなら私はいいよ
はぁ
はぁ、
そ…それじゃ――
ガバッ
!!

ずずず…
あっ…ッ♡
ずずっ…
ちゅ
んっ
はあ、
はあ
はあ
九十九、感想は？
初めてのゴム無しエッチ
KLMANGA.SI

ーッ
あ゛♥
ーッ
ーッ
あっ♥
はっ
はぁ
はぁ♥
はぁ、
な…なんか
いつもより
気持ちいい
――
はっ
はぁ、

いつもより気持ちいいのはきっと……
はぁ
はぁ
はぁ♡
背徳感とスリルのせい
いけないコトしてるって自覚ともし中に出しちゃったら…て恐れ
それと背中合わせの快感
やっぱり九十九は変態――
はぁ
はぁ
はぁ
それなら…吉田さんだって――
わ…私は気持ちよくなってなんか……
あッ♡

ふっ
ふっ
ふぅぅ…♡
九十九……
続きは部屋に戻って――

この後は一晩中
夜食買って来たよ――
ゴムは？
買った
そこエリクサー使ったほうが良くない？
大丈夫 あと1ターンは耐えられ――
あ……
ゲームをしたり
エッチしたりを繰り返しながら過ごした
そして――

どよ————ん…

ゲーム…
結局朝までかかったね

…九十九が
来なければ
寝る時間
作れたのに……

ごめん…
でも心配
だったから
——
ううん
九十九は
悪くない
それに——

友達と徹夜でゲームするのって

楽しい

あ 吉田さん
朝ご飯 買ってきていい？

奢るからさ 一緒に食べよう

…いいけど

あ…私は――
ツナマヨのおにぎりと水でしょ？
冷えてない常温の
ん… ありがと

単行本に挟まれた紙のことを思い出したのは
大学が終わって「今日はゆっくり寝たいから」と吉田さんが帰るのを見送った後だった

END

わからないです
吉田さん

わからないです
吉田さん

第四話

連絡先の写真とポスター
電話
メー

ムク

プルルル
…お兄ちゃん？なに？電話なんて珍しい
あのさ 満留 ちょっと頼みがあるんだけど

僕の部屋に中学の卒業アルバムあるだろ？
あれ こっちに送ってくれないかな？
えー 何であたしが？そういうのはお母さんに頼んでよ
NOTE BOOK

満留のほうが僕の部屋のこと詳しいだろ
どうせ漫画目的で入り浸ってんだろうし
えへへ まあそれはそう

今度帰ってくる時何かおみやげ買ってきてくれるならいいよ
あと着払いだからね
分かってる

ああとさ『青龍伝』の二巻てそっちにあったっけ？
！

そうそれ！何であれ二巻だけ無いの!?
一巻読んで結構面白かったのに続き無くて自分で買ったんだから！

とにかく…それじゃ頼んだから！
あ……

ふう……
ッ

友達（ともだち）
…か

…

大学では他人の振り
それが二人の間のルール

それじゃ 一限 終わったら どこか 食べに行く？

九十九も お腹すいてる の？

僕は平気 食べてきたし

ふうん… ちゃんとしてるんだね 九十九は

でもちょうどいいかな
休んでた間のノート
見せて欲しいし

いいけど
お礼は？

8:37

じゃあ体で

で

8.37

そういう冗談は
あんまり好きじゃない

九十九くん
おはよ
あれ…なんか
顔赤くない？
熱でもある？
い…いや
大丈夫……

ギシ…
九十九…
今日は何か考え事でもしてた？
え…
そう？
うん
なんか…心ここにあらずって感じだった

九十九どうする？もう寝る？
あ…うん
……

あの…さ吉田さん
ちょっと唐突な質問だけど
なに？

吉田さんが…さ
『青龍伝』を好きになったきっかけって何だったのかな……って
…それ
いま知りたいこと？

今度会った時に
感想聞かせてね
九十九
ごめん
何でもない
やっぱ気に
しないで
ん……
今の話で
思い出した
ドラマ観る
…え？
な…なに？
トイレ？

デデーーン
NET FLIX

吉田さんやっぱ寝ない？
これだけ観せて
二時過ぎちゃうよ
明日もお互い早いんだし

続き気になってたから
…目覚まし忘れないようにしないと

吉田さんに振り回されるのはいつものことだしそれはいいんだけど
何でさっきの話からドラマ思い出したんだろう……
吉田さんの思考の流れとかクセみたいなの
もっと分かるようになりたいなあ……
これってさ
『青龍伝』に似てると思わない？
え　そう？
こっちはSFだしあっちはファンタジーだし
そういうジャンルの話じゃなくて

ほら どっちも
「失われた自分の
一部を取り戻そうと
する物語」でしょ？
失ったものが
自分の身体の一部か
記憶かって違いは
あるけど

…なるほど
言われて
みれば

プラトンの
『饗宴』て読んだ
ことある？

いや…
無いけど
これと関係
あるの？

それは
——
！

…………
ごめん
何でもない！
ゴロン
あ……
吉田さん……？
やっぱ眠いし
続きは明日にして寝よ
う…うん

…さっきの質問

え？
あの漫画はね私にとっては特別なの

私が居場所を手に入れた証みたいなもの

居場所…？
うん

あの頃の私は何もない空っぽだったから

何もないって――

！

今は
違う

ツクモ…？
どう書くの？
ほらこう
九十九
漢数字で99
九十九……
それじゃ私の名前と——
!!
……あ夢——

それじゃ こちらにサインを――
ん……
もぞ…
ふに

アルバム以外は
お母さんからね
おみやげ忘れないよう
ゴソ
ゴソ
あった
あった
ぱら

彼女…すぐいなくなっちゃったんだよな
確か五月くらいに転校してきて夏休みの間にまたいなくなって――
!!
でも…どこかに写って――

いた……!!
でもこの時は名前が違ってた
えっと――

九十九…
それじゃ 私の名前と――
そうそれ!
僕も同じこと思った!

九十九と

一

足したらピッタリ100！

THE WIZARD of
SINCE 1982
FLAMING MOUNTAIN

また会(あ)えたね
九十九(つくも)
END

わからないです
吉田さん

わからないです
吉田さん

第五話

中学三年になって一ヶ月
突然に告げられた引っ越しだけど

物質的にも精神的にも準備はあっさりと済んだ
荷物も思い出も殆ど無かったから――

真魚もう行くわよ
早くして

お母さん…やっぱりこの子連れていけない？
引っ越し先はペット禁止なの

犬より自分の心配したら？
新しい学校では友達の一人くらいは作れるようになりなさい
……

…お父さんちゃんとご飯あげてくれるかな

…もうお父さんじゃない

パタン
あの頃の私には
何も無かった——
はっ
はっ

に…っ
一真魚です
よろしくお願い
しま…
す

それじゃ席は窓側の一番後ろね
は…はい

やだな…何で五月なんて中途半端な時期に転校してきたのかなんて思われてるのかな……
注目されるの好きじゃないのに

どこから転校してきたの？

え…？

一って珍しい苗字だよね

前住んでた場所ではけっこう多いの？

よく…知らない
…です
あのさ 僕の苗字──
九十九もう転校生にちょっかいかけてんの?
違うって!好奇心だよ
知的好奇心!
そこ静かに!!
…なに?
この人──

ねえねえ！
一さんは部活とかはやらないの？
そういうのは…もう三年だし
そっか前の学校では何かやってたの？
なにも……
じゃあ家では普段なにしてるの？
特に何も……

…ふうん
そっか
じゃあさ LIME交換しよ

あ…私まだ携帯持ってなくて
親の方針で――

……
…そう
ねぇねぇ 昨日のしいちゃんの配信見た？

見た見た！
ゆぅくん来たのびっくりしたよねー
あ……

——放課後
一さん！

あのさ朝の話の続きなんだけど——

そうだせっかくだし
校内の案内しようか？

えっと…
そういうのいいので……

あ…っ

びっくりした…あんな馴れ馴れしく話しかけてくるんだもん…
男子と話したことなんか全然ないし…
正直ちょっと怖い……

でも……

なんか悪いことしちゃったかな………

その日以降
積極的に
話しかけてくる
ような人も無く
――

一ケ月後
お願い！
数学の宿題
見せて！
ん――
いいけど
帰りに何か
奢りね
長谷川
おはよ――

二ケ月後
香奈のお弁当
凝ってるね
卵焼き
おいしそ
――
唐揚げと交換
しよっか？
するする！

図書室
くたぁ
はぁ……

自分で分かってたけど
私ってほんとヒトと仲良くなれる才能無いな…
別に美人でもないし
頭も良くないし運動神経も無いし
おまけにコミュ障

こんな無い無い尽くし
誰も相手にしてくれないよね
!
もうこんな時間……
そろそろ帰らないと

今から スーパー寄れば ちょうど タイムセール始まる頃だし
帰ったらすぐ洗濯機まわして
お母さんが帰ってくる前に リビングの掃除くらいは済ませて
はあ…教室戻るのめんど
カバン置いてくるんじゃなかった……
ガラ…

青龍伝
巻一

忘れ物…かな？
知らない漫画――

…まぁ漫画自体ほとんど読んだこと無いけど――

ペラ

ガタ

グス…

プッ

チッ
チッ

あれ？
一さん？
ギッ
それ……
僕の漫画？
あ…あの
これは——
スタ
スタ
謝らなくちゃ
でも上手く言葉が——
どうだった!? 面白かった？
…え？

率直な感想
どう？
そう言われても…まだ途中までしか読んでないし

でも……
面白い…かな

ぱあっ

そうだよね面白いよね!?
中村達に読ませてみたんだけど何か反応悪くてさ
アイツら全然分かってないんだよな
あ…その――

ごめんなさい
勝手に読んで

え？ああ いいよ そんなの
教室に置き忘れたの気付いて取りに来たんだけどさ
良かったよお隣で理解者に出会えた！

良かったら貸そうか？
あ…でも
お母さんに見つかるといけないし…
お母さんこういうの嫌いだから
へえ……
うちなんか父親が漫画好きのゲーム好きでさ
アレコレ勧めてくるのを傷付けないように断るのが大変なんだよ
微妙に好みが合わないいんだよね
やっぱりさ名前からして一さんとは話が合うんじゃないかって気がしてたんだ
え…
なんで？

だってさ九十九と一で――
ツクモ？どう書くの？
あ…そっか
ほらこう漢数字で99
九十九
九十九…それじゃ私の名前と――
そうそれ！僕も同じことと思った！
九十九と
一
足したらピッタリ100！

ね？
これってちょっと
すごくない？
キーンコーンカーンコーン
う…うん
あ…もう
帰らないと
一さん！
これ
お母さんに
バレなければ
大丈夫でしょ？

でも……
僕としても一さんに読んで欲しいから
それで読み終わったら一緒に語り合おう
うん
それからは
九十九に漫画を借りて放課後に話をするのが日課のようになった

最初はうまく感想も言えず
「面白かった」くらいしか言葉に出来なかったけど

九十九が上手に行間を読んで言語化してくれて
私は「うんうん」とそれに頷く

それが楽しかった

そして夏休み初日――
一さん
今日は誘ってくれてありがとう

お陰で宿題はかどったよ
僕いつもギリギリになっちゃうからさ
他にすることも無いから

あ…そうだこれ
借りてた漫画

どうだった？
面白かったよ最後はちょっと…合わなかったけど
あー分かるこの作者すぐ全滅エンドにしたがるから
僕もこれはそこまでしなくてもいいのにって思った

でもキャラは立ってたし
特に双子とか好きだったな

うんうん

これもさ他の連中にはあんま評判良くなかったんだよね
最近一さんと話してる時が一番楽しいかも
!
WHITE RABBIT

それ…ほんと?

うんやっぱりさ
友達とこうして好きなものの話で盛り上がってる時が一番楽しい

……友達？
私と九十九が…？

あれ…違った？
僕は勝手に友達だと──
え？
あ…ううん違うの！

私…よく分からなくて
これって…友達でいいのかな？
きゅ…っ
今までいなかったから──

じゃあ改めて——
一さん
僕と友達になってくれる？

え…ええ……
僕なんか気に障ること言っちゃった?
違う…
違うの

九十九は悪くない
九十九は悪くない……
私が…変なだけ

ごめん
もう帰る
あ…待って!
青龍伝
これ
一さん読みたいかと思って

でもこれ…
まだ出たばっかり——

—さんも早く読みたいかな…って

でも夏休みだしそんな頻繁に会えないと思うし
返すの遅くなっちゃうかも……
別に構わないよ
夏休み終わってからでも

…ありがと

それじゃまたね
!
何だろう?
紙が挟まって――
今度会った時に感想聞かせてね
九十九

九十九……

でも…

あの後
もう学校には
来なくて――

…お母さんが

再婚
決まったの

それでまた引っ越すことになって……
そっか…それで苗字が──
連絡できなくてごめん

…ううん違う
連絡しなかったんだ
私……
九十九にサヨナラ言う勇気がなかったから

だから大学で九十九を見つけた時はびっくりして
…それから腹が立った
え…？

な…なんで——
だって
私はすぐ気付いたのに
むすっ
九十九は気付かないんだもん
あ———……
でもさ それは吉田さんがあの頃とは全然変わってたから
苗字だって違うし
…九十九は変わってなかった
それって成長してないってこと？
ううん
九十九が九十九のままで嬉しかった

それにしても…
いま僕と吉田さんがこうしているのって
すごい偶然だよね
…そっか
もしあの日
たまたま同じ本を
手にしてなかったら
どうなってたんだろ？
…あれは
わざと
へ？
九十九が
いつまで経っても
気付かないから
何とかキッカケを
作りたくて
――
そうだったんだ
……
THE WIZARD of FLAMING MOUNTAIN SINCE 1982

他にも九十九に借りたことある本をベッドに置いたり
いろいろヒントは散りばめておいたのに
気付くの遅すぎ！
ごめん……
WIZARD of
ICE 1982
MOUNTAIN
ねぇ九十九
九十九は私のこと友達だって言ってくれたけど
今はどう思ってる？

今でも私のこと友達だと思ってくれてる？

…友達はあんまりこういう事しないと思うけど

それは知らない
ぎゅう。
私…他に友達いないし

でも……

こういう友達があってもいいんじゃない……？

こうして――
僕と吉田さんは友達になった
九十九くん
あれ？今日は吉田さんと一緒なんだ
仲良いじゃん
へへ　まあね
！

ひょっとして付き合ってる……？

いや 友達になったんだよ
ね？吉田さん

あれ？
照れてる？

…九十九うるさい
ごめんごめんでも隠すことでもないでしょ？
仲いいな――

それ以上言ったら一週間エッチなこと禁止！
え――

ん～

END

わからないです
吉田さん

わからないです
吉田さん

第六話
今年ももう終わっちゃうね――
吉田さんクリスマスの予定は？
特に何も
実家に帰ったりとかは――
無い
即答だね……

そういう九十九はどうなの？
僕も特に…30日に大掃除するからそれまでには帰れって言われてるけど
だからクリスマスは吉田さんと一緒に過ごせたらなー…なんて
だったら最初からそう言えばいいのに
ご…ごめん

九十九の誘い断るわけ無いんだから
ぼそ

ん？なに？
何でもない

そもそも私…クリスマスに特別って感覚あんまり無い
うちはずっとそうだったから
そうなんだ……
なのにうちの母親…再婚したら毎年夫婦で出かけるようになって──

…あ
そうだ
ひとつだけ
特別あった

え
なになに？
親が出かけてから
DVD借りて
リビングのテレビで
観てた

母親がアニメとか
嫌いでいつも
スマホで観てた
から
大きな画面で
観るとやっぱり
違うよね

…そっか
KUMARI
Channel

じゃあさ
クリスマスは二人でアニメ観ようか
え……
それで
チキンとケーキを食べよう
あでも
吉田さんは和菓子派だっけ
ケーキより
どら焼きとかのほうが良いかな？
…………
両方

——クリスマス当日
ん…っ
くちゅ
くちゅ
吉田さん待って……
ちゅ
ん……
ぐちゅ
くちゅ
ちゅうう♡

九十九の口…生クリームの味がする
それは吉田さんもだよ
ぷはっ
チュ…
ストン
ごめん寒かった?エアコンの温度上げるね
しゅん!
あっ
待って

このままでいい
九十九の体温であったまるから
吉田さん……
ほら
九十九も脱いで

RawLazy.Com
ん…
ギシ
んっ♡
ギシ
ギシ
ギシ
ぐちゅ
ぐちゅ ぐちゅ
ちゅぷ!!
ちゅぷ!!
くぷ!!
はぁ
はぁ、
僕も
はぁ
吉田さんの
はぁ、
くちゅ
はぁ
はぁっ
KLMANGA.SI

ん…っ
にゅる
!!
ぴゅくんっ

ぬちゃ
ぬちゃ
ぐちゃ
ギシ
ギシ
ぐちゅるっ♡
じゅぷ
じゅぷ
ギシ

はぁ
はぁ――♡
九十九……
はぁ、
はぁ
はぁ♡
!
そろそろ…
欲しい……

はっ はぁっ
ギッ ギシ ギッ
あっ♡
ずちゅ
ずちゅ ぐちゅ♡
ぷっ
ぷっ
んっ
ぷちゅ
れろ
ちゅ
ぬちゃ
はぁっ
はぁ
ぬちゅ ぬちゅ♡
ずっ
ずっ
ずっ
はっ
あっ♡♥
ぐちゃ♡
にちゃ
にちゃ

あっ♡
くちゅ
ぬちゃ
にちゃ♡
あっ
ぎゅう
あっ♡
むに
むにゅ♡
はぁ
はぁ、
はっ
はぁ、
はぁー
はぁー♡

あ、
はっ♡
はぁ
はぁ、
あっ
あぁ…♡
はぁ、

はぁ
はぁ
はぁ――
はぁ
はぁ――♥
ぬちゃ
ぱん
ぱん♥
ぱん
ぎゅ
は♥
あ、
あっ♥
はぁ
はぁ♥
吉田さん……
は、
はぁ
はぁ
…っく
も――
ビクッ
ビクン♥

あっ♡
う〜〜〜っ♡♡
……
はぁー
あ
そうだ
はぁー♡

吉田さん
やっぱ明日でよくない？
今日のうちに読みたいから
九十九と観るアニメ何にするかで頭いっぱいになってて
新刊出たのを忘れるなんて不覚……
九十九こそ買うもの無いなら付いて来なくてもよかったのに
ん――――
でもさ

できるだけ一緒にいたいから
クリスマスだし
そういうことさらっと言うな……
あそうだそういえばあれ読んだよ
プラトン
え…ああそう
前に吉田さんが言いかけたこと気になったからさ
でも結局あの時吉田さんが何を言おうとしたか分からなかったんだよね

別に…分からなくていい
せっかくだから教えてよ
言わなかったけどずっと気になってたんだよ
言う程の話じゃないから…私があれ読んでちょっと思っただけのことだし
聞かせてお願い！

でもさ神様だって
ぜんぶ綺麗に
半分にできたわけ
じゃないと思う
のよね
中にはちょっと歪な…
60：40とか70：30とかに
裂けちゃったペアも
いるんじゃないか
…て

神様なんだから
そんな不器用なこと
ないんじゃない？

だから私が
そう思っただけって
言ったでしょ！
ごめんごめん
続けて

つまりね
足して100になる
相手が
昔引き裂かれた
半身なんだろうな
…て
それだけ！

足して100になる…か
僕と吉田さんはどうなんだろ？
…ん？
足したらピッタリ100！
吉田さん――
…気付くの遅い
急ご本屋閉まっちゃう
スタ
スタ
あ…待ってよ吉田さん

行こう
九十九
END

わからないです
吉田さん

わからないです吉田さん

Staff

The author
高橋　脩

Assistant
Miki

Design
BANANA GROVE STUDIO
(中野絵美)

地味で取柄もない大学生の九十九。
いつものように大学の講義を終え帰宅準備を
していると孤高の美女と呼ばれる
「吉田さん」が通りかかる。
ざわつく男子を他所に、こっそり吉田さんに
呼び出される九十九。二人っきりになると
吉田さんから迫られる九十九。実は九十九と
吉田さんは親密な関係なのだが…。
そんな九十九は吉田さんが無表情すぎて
恋愛的距離感が掴めず、『友達』から「恋人」に
なれない甘くもほろ苦い大学生活を
過ごしているのだった――。

わからないです
吉田さん
高橋 脩
高橋
脩

Wakaranaidesu
Yoshida san

高橋 脩

カドコミ

わからないです 吉田さん①

著者　高橋 脩

2024年9月6日　発行
ver.001

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
カドコミ『わからないです 吉田さん①』
2024年9月6日　初版発行

発行者　山下直久
発行　株式会社KADOKAWA
https://www.kadokawa.co.jp/
編集企画　カドコミ編集部

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　（「お問い合わせ」へお進みください）
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

装幀・デザイン　中野絵美[BANANA GROVE STUDIO]

初出　『カドコミ』2024年5月23日～8月26日配信分